

早大ラグビー部が優勝パレード！

1月25日午前11時、全国大学選手権で11年ぶりに優勝した早稲田大学ラグビー蹴球部のメンバーが、西武新宿線上井草駅南口から早稲田大学ラグビーグラウンドまでの約250mをパレードしました。沿道には、多くの地元住民やラグビーファンが立ち並び、選手たちが通りかかると大きな拍手と声援が贈られていました。また、パレードの後には、グラウンドで優勝報告会とファン交流会も開催され、選手とファンが優勝の喜びを分かち合いました。

早大ラグビーの本拠地になっているのが、早大上井草グラウンド（上井草3-35-21）です。100人以上の部員が、練習に汗を流すとともに、その一角には部員の寮が整備され、40人ほどが暮らしています。部員たちは、日頃から小学生のラグビー教室や公開の練習試合などで地域の住民と交流を続けてきました。

また、平成27年7月には、早大ラグビー部と地元の町会などが、災害時に高齢者などの救出活動に協力することなどを目的とした防災協定も締結しています。こうした縁もあり、早大ラグビー部の11年ぶりの優勝は、地元にとっても待望の優勝でした。

パレード開始の1月25日午前11時、西武新宿線上井草駅南口から早大上井草グラウンドへの約250mには人垣ができました。選手たちは、沿道の人たちに笑顔を見せ、手を振って応えていました。

優勝報告会では、相良南海夫監督が、「地元のファンの皆様に支えられて、11年ぶりの優勝をすることができました。また、この優勝パレードの感動をぜひ来年も選手とともに味わいたいです。これからも応援をよろしくお願いします」とあいさつしました。

